



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】エコアクション21等の環境マネジメント規格の取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】自社の取組み内容をHP等により開示												12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】雨水、太陽光等の再利用システムの整備と活用							7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・道路設計において、切土により生じた発生土を盛土に転用するなど天然資源を活用した設計の検討												12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に関係項目を明記することによる周知 ・代表による全体会議、定例会議等を通じての周知																	16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・代表による全体会議、定例会議等を通じての周知																		16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・社内開発における知的財産については弁理士を通じて法的保護を実施									8.2			9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・入社時に情報漏えい防止に関する社員教育を実施するとともに、定例会議等において再教育を行うことで厳格な実施を周知徹底																			16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・業務上、取扱いの機会が生じない																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・協力会社、関連メーカーに関するハラスメント等の防止につき社員教育を行うとともに、協力会社等へのヒアリングにより状況を検証					5					8		10		12	13	14	15	16	17	
28		製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・厳格な段階的照査の実施による安全性の確認			3.9										12.4						
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	・厳格な段階的照査の実施による成果品の品質確保 ・顧客からの指摘事項に関する社内レビュー、PDCAサイクルによる品質の向上															9					
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	・設計計画における環境配慮型設計の提案及び実施						6							12	13	14	15				
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	・時代に即した設計計画を成果品として納品することで、社会課題の解決に資するサービスを提供	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																										
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・災害発生時には自治体等の要請に応じて迅速で確かな対応を実施し、地域社会の安全確保に寄与				4									9		11	12			14	15					17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・国道19号のボランティア道路/トロール、災害ボランティアへの参加				4													11					14	15			17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・【予定】設計業務を通じての地域産資源のPR活動の実施															8	9			11	12	13						
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	・年度頭書の全体会議にて経営理念、年度目標等を文章にて配布するとともに、代表からの講話にて社員全員に周知														8	9											17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・入社時研修におけるコンプライアンス教育の実施 ・全体会議、月例会議におけるコンプライアンスの再確認と周知徹底																										16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・統括的責任者(技術本部長)をトップに部門の責任者を任命し活動状況及び影響を監視																											16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・発注者を通じて関係者や地元の要望を把握し、それらの要望や課題解決に資する技術提案を実施																										16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・定期的なリスク評価とリスク対応の実施 ・【予定】リスク管理に係る行動指針の策定																											16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・インフラ整備に係る企業として、公益確保等の社会的責任を自覚した業務の遂行 ・【予定】自社HPIにおけるCSR活動の報告																											16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】BCPの策定と運用、災害等を想定した定期的な訓練の実施																		9			11			13	13.1		
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・【予定】経営資源(経営・資産・知的資産等)承継に関する計画書の作成																8	9											17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。  
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)